

シラス卵稚仔分布調査情報(No.4)

平成 29 年 7 月 18 日(火) に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

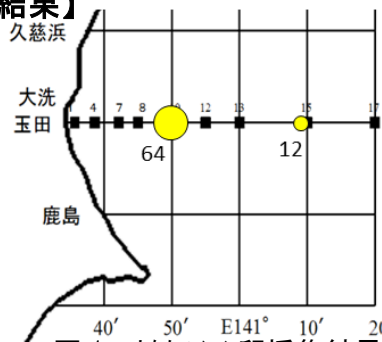


図1 カタチイワシ卵採集結果

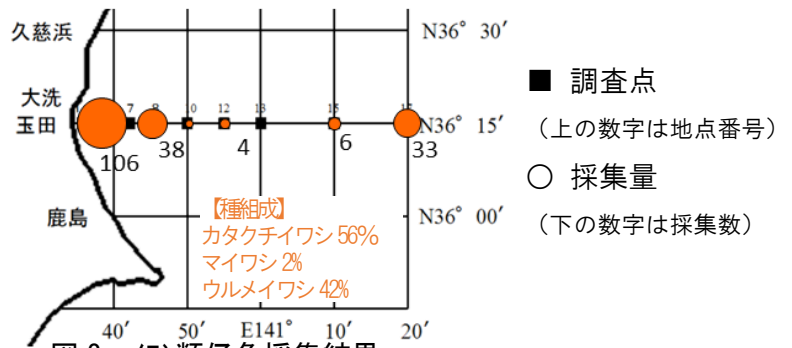


図2 イワシ類仔魚採集結果
 (マシラス、ウルメシラスを含む)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度		140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
水深(m)		14	25	39	53	120	282	510	780	1000
観測結果	水温 0m	20.1	19.7	19.6	19.6	22.0	23.1	23.2	22.4	21.5
	50m	-	-	-	12.1	12.2	14.3	12.1	11.0	12.7
	100m	-	-	-	-	9.9	12.0	11.7	9.0	9.6
	流向° (10m)	-	327	249	259	199	170	156	121	98
	流速Kt(10m)	-	0.2	0.2	0.5	0.8	1.2	1.1	1.1	0.6

【まとめ】

調査ラインの水温は、表層で19~23℃台、水深100m層で9~12℃台で、100m層では前月より降温しました。また、潮流については逆潮が観測された点が多く、特に東経140° 55' ~141° 10' では強い逆潮でした(上表)。

カタチイワシ卵およびイワシ類仔魚の採集量はともに平年を下回りました。またシラスの種組成は、前月に比べウルメイワシ仔魚の割合が増えました。

現在、黒潮から沿岸域への暖水波及はみられず(図3)、シラス漁況は低調に推移しています。今回の調査では、前年よりは卵が多く確認されたものの、平年と比べると低水準であり、さらに現在の海況が続く場合、沿岸域へのシラスの来遊は引き続き低調となる見通しです。

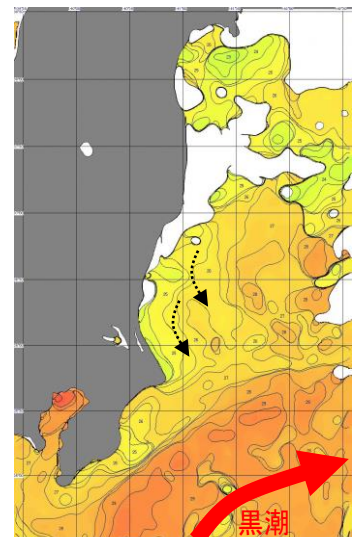


図3 NOAA衛星画像(8/1)